

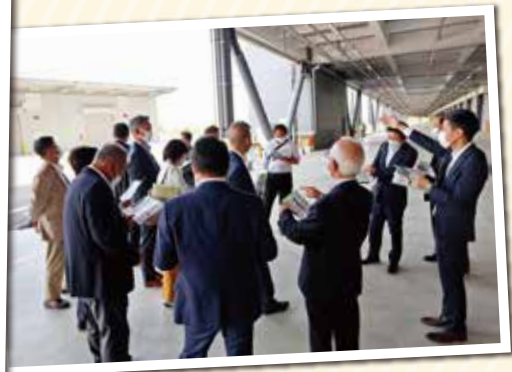
名古屋港湾等の視察

令和5年5月10日、弥富市議会として名古屋港湾等の視察を行いました。

名古屋港管理組合港務艇「ぼーとおぶなごや2」にて名古屋港湾施設、ポートアイランド及び鍋田ふ頭、弥富ふ頭を海上から視察し、その後弥富市港湾地区に建設された大型物流センター、富浜緑地、鍋田ふ頭の背後地として開発を目指す八穂地区の現況を視察しました。

今回の視察目的は第2次弥富市総合計画、都市計画マスタープランに掲げた八穂地区の開発に向け、名古屋港そして鍋田ふ頭との関連を議会として確実なものとして理解するための視察でした。

今回の視察を通じ本市の財源確保向上に向け、都市計画マスタープランに示されたこの地域の開発を、市議会としてもスピード感をもって進めなければと認識を新たにしました。



知立市議会では、共通の機器を貸与し、議員が互いに教授し合って対応し、タブレットを使用しない議員はいない。また、紙資料は

4月20日に知立市役所で、先進的な知立市議会のICT化への取組とタブレット導入までの経緯及びスケジュール、執行部との調整、機器の選定に関すること、導入費用、使用してのメリット・デメリットなどを伺った。

愛知県知立市

議会改革
協議会



用意しておらず、必要であれば各自で印刷している。市当局のタブレット導入は、令和2年度に議会の導入に合わせて用意した。紙の使用量の大幅な削減は元より、議会開催前の資料作りに職員が要す時間の削減が最も費用対効果として大きい。議会ICT化に必要なことは、議会は議長、市側は市長が先頭に立って取り組まれているという点である。前回視察した長久手市も同様であったことから、早期のICT導入には何が必要なのか実感できた視察だった。

